

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	チャイルドサポートみやこⅡ	公表日	令和 8 年 4 月 1 日	利用児童数	17	回収数	17	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15		2	・子どもの成長に合わせて、部屋数を増やして欲しい ・職員が多い時は特に、職員と児童が同じ空間にいる事で活動のペースが早く感じる	・子どもの成長に合わせての部屋数の確保は直近で対応が確保のため、グループで活動の内容を分けている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	2	1	・適切な配置人数が分からないが、職員は多いと感じる	・子育て世代の職員が多く、休みが重なり勤務調整が難しい点があるが、活動の安全を工夫しながら安全に確保できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされていると思いますか。	15		1	1	・玄関以外の場所は壁を使用し、簡易な段差解消を行うことで、施設の整備は行っている。 ・障がれ止空間の中での構成化は難しいと感じる。 ・環境の工夫が必要と感じる	・玄関以外の場所は壁を使用し、簡易な段差解消を行うことで、施設の整備は行っている。 ・空間の構成化は境界があるが、原案の中にカーテンを使用し、空間を分けることで、空間の目的性に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			1	・清潔感があり、開かれた空間の中でも上にある事が分かる。 ・空間を工夫する事で、子ども達の活動が出来るように思っている。 ・活動の種と目的に応じて工夫が必要と思う。 ・子供達に馴染みが多く、落ちつかない日もあると思う。	・開かれた空間の中で、工夫しながら子ども達の活動のペースを確保出来るように、スムーズな生活環境にすることが出来るように空間の工夫の継続を行う。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1			・理解が十分な保護者さんはいらっしゃる部分がある。 ・詳しく確認したことがないので、よくわからない ・特性に合った声掛け、声の大きさ等、声の大きさも、声掛けの仕方など	・理解が十分な保護者さんはいらっしゃる部分があったので、今後は保護者さんでも活動の内容を提示する時間を確保し、保護者に理解を促す。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1	・公表した内容と実際の支援内容が一致していない	・公表プログラムの内容を保護者さんに知らなかったことだったので、今後はプログラムの公開のアップスを行い、事業所の支援計画と比較できるようにする
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				・課題の分析と今後の課題を予測し、作成していると思う	・今後どう対応の継続、保護者が不明な点に関しては迅速に対応する。
	8	放課後等デイサービス計画に、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの状況に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容	17				・原則的な支援は行っている。 ・ガイドラインの存在をあまり意識出来ていなかった ・移行支援の取り組が不明	・モニタリング時にガイドラインも一緒に提示することで、深層した内容の理解に繋げて行く、説明を行った中で、更に規定できる内容は見直しを行う。具体的な支援内容の提示を行っていく
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16			1	・計画の記載はありますが、説明以外は特に気にすることはない ・申し送り内容、評価が追加職員によって違うので支援の統一が出来ていないが不明。	・丁寧な説明を行うことで保護者の理解につながり、職員で共有している部分が多い。活動内容の目的ややり方等は申し送り時に伝えていないこともあって、職員間で共通の理解ができるよう申し送りの方法を検討する。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2			・年齢の幅が広い中で、工夫はできていると思う。 ・活動プログラムが分からない。	・年齢の幅が広いので、グループ分けを行い活動の工夫を行うことで、固定化を避け、年齢と課題に合った活動の提供に繋がる
保護者への説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3		1	・長期休みは児童館へ出たり、行事のイベントでは地域交流を積極的に行っている。 ・地域交流との交流は少ないと感じる。	今後も継続して実施
	12	事業所を利用する際、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				・説明は行っている	・今後どう対応の継続、保護者が不明な点に関しては迅速に対応する。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	17				・不明な点は迅速に対応してもらっている。対応は満足している	・今後どう対応の継続、保護者が不明な点に関しては迅速に対応する。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修や情報提供の機会が行われ、日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていますか。	17				・研修案内や情報の提供は行っていると感じる。 ・家族参加の研修の提供なし	・研修案内や情報の提供は行っていると感じる。必要と感じた研修は研修機会を検討、保護者が安心して子育てができるよう家族支援を行う
	15	こどもの健康や発達について共通理解ができていますか。	17				・共通理解がもてていると感じる。 ・職員によって見解が違ってくる	・今後どう対応の継続、保護者が不明な点に関しては迅速に対応する。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				・満足している ・お迎え時に事業所利用の様子を申し送りや助言をおこなって行っている ・助言は少ないと感じる	・今後どう対応の継続、保護者の不安や寄り添った助言の提供ができるよう、職員も勉強会を行い、保護者の不安の解消に繋がる
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				・満足している	・今後どう対応の継続、保護者とごまかに連絡し、支援をしていく
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への交流がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい間の交流の機会が設けられることにより、家族からの理解や介入に際して対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知、説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3		1	・定期的に開催している ・お迎え時に事業所利用の様子を申し送りや助言をおこなって行っている ・助言は少ないと感じる	今後も継続して行っていく ・イベントの開催に関しては、検討し、家族支援に繋がる
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1			・主に自発的に相談し対応してもらっている	今後も継続して実施
	20	定期的に連絡やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14		1	2	・紙面やLINEなどで発信されている。SNSを通じた活動の様子を確認できる	SNS等を活用し、情報の発信を行っている。
非常時等の対応	21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17				・情報の管理は十分行っていると感じる。 ・他児童と比べながらの申し送りがあったので、取り扱いは厳格になった	・今後どう対応の継続、情報の取扱いには十分注意する
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17				・お迎え時に訓練を行った等の申し送りをしている。 ・訓練の実施は行われていると認識した。	・訓練の周知は在しているが、詳細の説明は出来ていないので、今後は詳細の説明、訓練の様子を写真や動画で周知する
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難訓練、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17				・お迎え時に訓練を行った等の申し送りをしている。 ・訓練の実施は行われていると認識した。	・訓練の周知は在しているが、詳細の説明は出来ていないので、今後は詳細の説明、訓練の様子を写真や動画で周知する
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17				・今の対応に満足している ・申し送りの継続実施を工夫してほしい	・今後どう対応の継続、保護者理解につながるようごまかに詳細の周知を行う
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15			2	・事故発生時の連絡体制は迅速に機能していると感じる。 ・事故に合った事がないからわからない	マニュアルが整備されており、今後も継続して対応できるように、研修等を実施
	満足度	27	こどもは安心感をもって通っていますか。	17				・今の対応に満足している ・楽しそうに通っている
28		こどもは通所を楽しみにしていますか。	17				・今の対応に満足している ・楽しそうに通っている	・今後どう対応の継続、子ども達が楽しく通れるよう活動の工夫を継続していく
29		事業所の支援に満足していますか。	17				・満足している ・子供に特性や将来を見据えた支援内容の充実、研修の機会を設けたら他事業所とも連携して良い事業所、良い支援に繋がると感じている	・今後どう対応の継続、保護者の不安や子ども達の支援内容の定期的な評価や、活動の目的を明確にした支援の提供を行っていく。